

会報

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワグネルフォゲルOB会 普通口座(370-1881604)

欧州渡り鳥

小原祐一(40年卒)

この夏からワグネル発祥の地、欧州勤務となり、パリに住んでいます。

トルコのイズミル空港でチャーターした車は、暗くなった道をただひたすら走り続けている。時々荷台のひしゃげたトラックやペコペコの乗用車とすれ違ったり、追い抜いたりして行く。薄暗くて道の両側がどうなっているのかよく分からないが、光が見えないことから、道の脇にはほとんど人家がないらしい。追い抜く車、すれ違う車を見ていると、このままイラン、イラクを通り、シルクロードに入りロプノールの脇を抜けて、中国、朝鮮半島まで陸続きだということ、道が繋がっていることをしみじみと感じさせられる。

このまま定年までヨーロッパにいて、自動車で陸伝いにノンビリと帰国するのも悪くないな……。子供の頃読んだ朝日新聞の辻さん(?)の「ロンドン東京5万キロ」を思い出しつつ、あれはドアが観音開きのトヨペットクラウンだったから、俺はパジェロにしようか、乗用車それも国産車かドイツ車がいいか、なんて考えているのは幸せだなー!

隣に座っているフランス人は何を考えていたか知らないけれど……。彼だって若いとき徴兵を逃れるために、何年かアフリカで生活しているとのこと。こっちが真面目に会議に参加している間をサボって、古代トルコの遺跡を見学に行ってくる根性には負けました。

こっちも帰路、イスタンブールで2時間乗り継ぎの時間があつたので、ヨーロッパとアジアをつなぐ橋を見たくなくて、ボスポラス海峡まで車を走らせてもらいました。土砂降りの雨で車から一歩も出られませんでした。アジアとヨーロッパを一度に見てきました。そこまでは良かったのですが、帰りに交通渋滞に巻き込まれた上に、車の調子が悪くなり、飛行機の出発予定時間ギリギリに空港カウンターに飛び込む羽目になりました。なんと運の悪いことに、カウンターで「パリの航空管制管ストライキで出発の見込みはたちません」との答えでした。結局、イスタンブールの空港に5時間足止めになり、パリに着いたのは真夜中でした。

それにもめげず、翌週はスイス(夏に見た山々は既に雪を被っていました)とロンドン、次の週はドイツ、そしてその次にはまたロンドンとウェールズ・リバプールと毎週渡り歩いています。

こんな状況ですから、家具(ベット等)を買いに行く暇が無くて、アパートで数週間寝袋で生活をするはめになりました。更に、新築アパートだったので電気が引けるまで照明も無く、懐電で過ごしていたというのも含め、パリにおけるキャンプ生活実践者として事務所の伝説になりそうです。まさか華の都でワグネルを実践できるとは思いませんでしたし

た（今年の夏は、東欧からの旅行者が観光地の公園でテント・寝袋生活をするのが大きな問題となっていました）。

第一次越冬隊の西堀隊長が鉈と鑿節（京大山岳部時代の非常食）を南極に持って行ったのと同じ感覚で、羽毛の寝袋とコップ、スイス・アーミー・ナイフを秘かに持ってきたのは正解でした。更に、冬のヨーロッパでは、ヒマラヤ用に開発された羽毛の高所服が非常に役に立っています。

さて、この週末に仲間を持ち寄りパーティーをやることになっています。きのこ（ツキヨタケみたいだけど色が違って、灰色のヒラタケみたいなきのこです。朝市で売っていたから毒きのこではないでしょう）と骨付きのうさぎのもも肉（スーパーや普通の肉屋で売っている）を煮込んだ欧州マタギ・スープをご馳走してやろう。

欧州においでの際は是非ご一報下さい。

自宅住所： 21,rue Bague, 75015 PARIS Tel: (01)43068197
office : Tel: (01)47 66 98 63 Fax: (01)47 66 98 56

20年ぶりの二口

—— 10期OB会・卒業20周年記念山行 ——

若佐則雄（1971年卒）

10期生16人は、今年“クラブ”卒業20周年を迎えました。大阪の万博のあった年に夏合宿の本部をやり、全共闘の教養部管理棟封鎖を蔵王の雪の熊野小屋の中でラジオで聞き、下宿のテレビで「奥様は18歳」を欠かさず見ていた……、そんな学年です。あれから色々あったような気がしますが、なんと皆が仙台で出会った時の倍の年になっています。途中結婚式などで何回か会っていますが、それにしてもこれは一度会わずばなるまい、という訳で記念山行を企画しました。

夏の交通混雑、家庭サービス繁忙の時期を避け、9月22日～23日を集合日にしました。正月からスケジュールを立てていたのですが、宮崎出張と重なった浅野助教授、福岡で自然保護団体の会議に招待参加する薄木補佐官、オーストラリア研修出張の準備で忙しい今井先生、実家の法事が重なった菅原君、小学校の運動会と重なった本田PTA会長の不運な5人を除く11人と4人の家族（内2人がOG）が参加できました。

今年の天候は夏以来不順で、週末毎に台風が来ました。そんなサイクルの中、その日は奇跡的に2日とも快晴！さわやかな二口でした。

予定では初日に大東岳に皆で登はずでしたが、集合時間に10分程遅れて登山口に行ってみると誰も居ない。先に行くとも思われないので、結局誰も登らないのか……などと思いつつ歩き始めました。本小屋から大東岳へのコースは実に美しいブナの疎林だったということ知ってますか？適度に小沢が道を横切り歩きやすい。2時間半で頂上に出て、藪漕ぎで難儀した大東バックにつけられた道を右に分け、面白山を一にらみしてから龍ガ峰、

神室、蔵王が見える展望の良い肩で休もうと行ってみると、往年の貴（奇？）公子田中君が、見知らぬ中年の女性3人のすぐ横で仲よさそうに休んでいるではありませんか。

お邪魔しては失礼と結局休まずに先行しましたが、樋の沢まで来るとヘリコプターがひっきりなしに何かを運んでいます。聞くと樋の沢のテントサイトに避難小屋を建てるとのこと。当時樋の沢でテントを張る時、最初にリーチした辺りです。大東から下りてきて少し右に上がった付近。水場は健在でした。あの辺はどこを掘ってもダストホールがあるはずです。

結局そこでもうるさくて休めず、裏盤司歩道を芋煮会場へ急ぐことにしました。裏盤司も改めて見直しました。あんな素晴らしいなめた明るい沢だったんですね。なんで遡行しなかったんだらう……などと思いながら1時間半、樋の沢出合い芋煮会場に来てみると、懐かしい全員が集まり、早くもビールが回っているではありませんか。

かまどのわきで材料を刻む甲斐君の後ろ姿は、夏合宿の爛れた本部そのまま。野家君は豪快にビールを飲んでいきます。福井の美浜からやってきた遠来の野本君は、疲れも見せず、沢のそばでにこにこしています。富並君は同行の長男に、普段家では見せないだろうまめな所を見せています。高野君と富並君の額と野家君、野本君を見比べながら「二高は薄くなる」などと悪いことを言っている奴がいます。藤田君は、大きなスプアーリブに食いつきながら、一人で飲んだように真っ赤な顔をしています。大鍋2杯の芋煮を平らげ、まずはその場はお開きにしました。

その晩は、二口山荘の温泉に入った後、改めて宴会です。黒田君の豪快な飲みっぷりは見事でした。ただし、布団に運び込むのに若干の苦勞がありました。杉森君がかいがいしく(?)世話をしていました。

翌早朝、朝飯前に出発し、車に分乗して二口峠を越えて山寺に抜けました。二口峠や清水峠では、新しい車の道の陰に昔の山道を見つけ、感無量なものがありました。そして、山寺の山菜そばを皆で食べて記念山行を終えました。

さて、次に会うのはいつにしようか……とワイワイ話したのですが、次の20年後では全員がこの世にいるとは限らないので10年後にしよう、しかもその年は21世紀、1週間程度の休暇も取り易くなっているだろうから大きな事をしよう、シルクロードへ行こう、それなら今から貯金を始めよう、ということになりました。

早速口座をつくり皆に連絡したところ、「これで10年後に期待がもてる」「是非実現しよう」などと返事があり、田中君から振込がありました。

今後の10期生の活動にご注目下さい。

- ★★ 大東の頂上で田中君と一緒にいた女性は結局だれだったんだらう？それはと ★★
- ★★ もかく、同期の方々に集まる機会があったなら、その様子をお知らせ下さい。★★
- ★★ 私の8期は、10周年、20周年と幹事は決まるのですが、やるという連絡 ★★
- ★★ は未だに届いていません。 ★★

メツチェンの近況

今回は、あのころのメツチェンが
今どうしているか尋ねてみました。

卒後 再びに 25年の時が経過。心にはいかに
を口ずかすおなから 女子パーティを組んで山々を歩
きまわったことが ~~いまだ~~ 心にやまっています。
「旧人訓練」と称して 珠目の連休に行くと二口
は、いまでは、杯道が二口峠おいつくらから
通行止の立て札がはがせは ^{山形} 山形につながらず
あの 7ヶ原を杯に おおわかれいれ 船形は、乱伐
ひもヒカン判。縦横に杯道が切り刻まれ
昔の面影はなくなりました。この季に胸を痛めて
いる山を愛する人々と 私は今、仙台市議員
として、自然を守る運動に 少なからず力を注
いでおります。皆さしにとつとも 心のふゆと
~~と~~ こゝろ あつち を 地 元 に 残 り し て
愛 し や ま な い 。 今 後 も 保 全 を 求 め て
か つ は ら い き ま す 。

989-31 仙台市青葉区下愛子字下原 11の1
(41年卒) 青野 登喜子 022(392)3599

卒業して二十一年。長女のふゆこも
もう二十才になりました。もうすぶり
いいおばさんになさうしま、マアだね。
主人と一緒の趣味も、と始めたテニスと
バトミントンも十年とすぶりました。最近
やると、草トナメントに顔を出すようになったりま
した。四人姉妹のトッポをきいて、次女のすぶ
か十五月に結婚です。(孫のお守りはまだ
したくない……) 以上 近況報告

伴藤 千代子 (45年卒)

9月末に山の中に転居しました。最近才来た。仏名大
親者という趣味の悪い、むかい親者様の背申側の方
面です。以前は、お面の方に居ました。
昨年11月から、大学の金研の研究室を半日で
すか、ちよとお手伝いをしてます。この歳になつて
やと、車の免許をとつて、事故もおこさぬよう
気を付けて乗るといふと、三つです。
息子達も大きくなつて、金かけのつなかりのようです。
今かに、うそのような、長男が逝つて 11月20日
丁度、3年になります。自分か生きてくるのか
不思議です。ひも命がある限り人は生まるのだと
思います。先日、マイ・エ・ア・レ・テイ (My Little) を観て過まんか
口かえていた曲が流れ、思ひました。

八重樫 信子 (43年卒)

御連絡をいただいた直後から
体調をくずし、近況報告の件
失礼しました。お許し下さい。
今、宮沢賢治の童話を久し振
りに読んでいます。やはいい
ではまた、

若佐 勢 (45年卒)

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の第4金曜日（平成4年は1月24日（金）19：00から）、新橋駅のすぐ近くにある新橋亭（しんきょうてい）で行っています。皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に、若い人の出席は大歓迎です。会費は9000円位の予定です。年が明けたら、各代の連絡係の方を通じて出欠を調べますので、よろしくお願ひします。

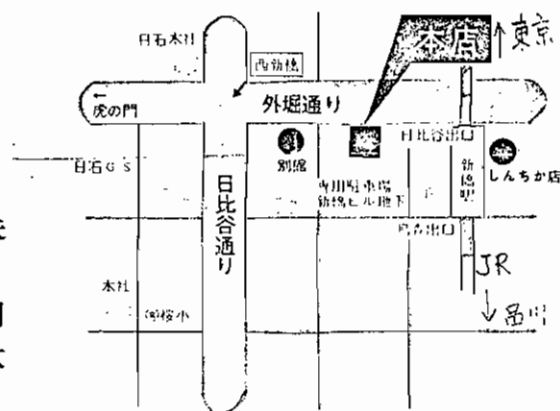
遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

平成3年新年会出席者

(S39) 後藤龍男、松木功 (S40) 及川捷、小原佑一、島崎賢、緑川学 (S41) 朝倉宏保、桜洋一郎、渋谷尚武、谷正美、藤田凱巳、横山雄一郎
 (S42) 加藤邦明、西健、宗村文司、渡辺文隆
 (S43) 石川誠之、金子清敏、菊谷清、藤森英和
 (S44) 小笠原弘三、佐藤拓哉・良子、濱聡、三日月道夫、水上俊彦、宮下美恵子
 (S45) 石野好昭、伊藤千代子、富川正夫、原田博夫、桃谷尚安 (S46) 薄木三生、甲斐利春、浅野孝夫、黒田和雄、菅原英行、高野秀夫、若佐則雄 (S47) 秋田修、池田重則
 (S53) 相川秀明、青木周司、石坂安雄、菊地智明、宿崎和彦、田沼唯士 (S55) 板橋正之、須々木裕太
 (S58) 利根川敏 (S61) 大塚欣也
 (S62) 小泉浩

中国料理 **新橋亭**
 本店 東京都港区新橋2-6-3 〒105
 TEL (03)580-7811
 年中無休 12:00P.M. ~ 9:30P.M.



平成2年1月～12月会計報告

収 入

繰越金（東京）	569,992
繰越金（仙台）	88,108
OB会費	72,000
利 息	4,610
計	734,710

支 出

会報N021号	32,774
事務通信費	4,663
事務用品費	957
送金代	618
次年度繰越	683,316
計	734,710

★★ 編集後記 ★★

◇会報22号をお届けします。昨年の21号を読み返してみると、いろいろミスがありました。

- ・発行年が1989年
 - ・会計報告が平成2年（本当は元年）
- そういう訳で今度は本当の平成2年の会計報告を行います。

◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り込んで下さい。最近、新年会に参加した人から集めているだけという状態です。

◇今年の新年会では新年会の費用8000円、OB会費1000円を集めましたが、酒代がかさみ、せっかく集めたOB会費が新年会の方にすべてまわってしまいました。